

29 CurPer: Ra/Ve/Sa

David Beckham May 2,1975

Time: 6:17AM Zone: 0:00 DST: 1

Leytonstone, England

Longitude: 0W00 Latitude: 51N29 CurPer: Ra/Ve/Sa

Lahiri Ayanamsa: 23:31 365.25 Day Year

David Beckham デヴィッド ベッカム

As	04:08	Ta
Su	17:41	Ar
Mo	06:20	Cp
Ma	22:02	Aq
Me	02:19	Ta
Ju	17:01	Pi
Ve	27:48	Ta
Sa	20:32	Ge
Ra	07:36	Sc
Ke	07:36	Ta

Vimshottari Dhasas	
Su	May-02-1975
Mo	Dec-25-1976
Ma	Dec-25-1986
Ra	Dec-25-1993
Ju	Dec-26-2011
Sa	Dec-26-2027
Me	Dec-25-2046
Ke	Dec-26-2063
Ve	Dec-25-2070

Ju 17:01	Su 17:41	Me 2:19 As 4:08 Sa 7:32 Ve 27:48	Sa 20:32
Me 22:02			
Ma 22:02			
	Ra 07:36		

Ge	Me	Sa		
As	Mo			
Me				
Ju				Su Ve Ra

整形疑惑 - 美容整形は牡牛座の象意 -

2007年5月頃、デヴィッド・ベッカムの整形疑惑が報じられていた。

写真の様子からおそらく実際に整形していると思われる。整形によって、少し厳しい闘争的な容姿になっているのが確認できる。



ベッカムに整形疑惑

2年前(右)と現在の顔を比較してベッカムに整形疑惑があると報じた英紙レアル・マドリッドMFデービッド・ベッカム(32)に“プチ整形”疑惑が浮上した。6日付の英日曜紙、ニュース・オブ・ザ・ワールドが報じた。現在と2年前の写真と比較検証。目尻のしわ、鼻から口元に刻まれた深いしわが消えているのが歴然だった。

有名整形外科医のアレックス・ガリダ氏は、最近のベッカムの顔について「眉(まゆ)が多少つり上がっている」「額にも注射跡がある」と証言。ボツリヌス菌のタンパク質を注射して、しわを伸ばしているのでは、と分析している。同紙は、ビクトリア夫人が整形のスタッフを自宅に招いた事実もつかんでおり、ベッカム自身も「老けて見える」と悩んでいたという。(2007年5月7日06時01分 スポーツ報知)

疑問なのは彼は美男子なのに何故、整形したかということである。

私は写真を見た時、整形前のほうがハンサムで、女性にモテそうな愛嬌のある顔つきをしているのに何故、わざわざ整形をしたのだろうかという疑問に思ったものである。

彼は記事の言うように皺伸ばしのために整形したのだろうか。あるいは少し険しい顔に変えて闘争的

な印象を出そうとしたのだろうか。

まず、牡牛座ラグナの人は美に関心があり、肉体の快適さや五感の快適さにこだわるのである。家具とかインテリアとか自分の身の回りを物質的に美しく飾ることを好むのである。実際、審美眼があり、絵画を描いたりもするが、牡牛座の場合、むしろ美しいものを所有することに意識が向くため、美術コレクターになる例も多いのである。所有が主な関心事である。

そして最も身近にある物質は自分の肉体であるため、牡牛座ラグナの人は美容にも大変、関心が高いのである。エステとか化粧品とか、自分を美しく保ち、自分の肉体が快適になることを求めるのである。何度も美容整形したマイケルジャクソンも牡牛座ラグナだったが、牡牛座ラグナの人は一般に肉体を物質的な手段によって、安易に改造しようとするのである。健康食品、サプリメント、化粧品、美容整形などは牡牛座の関心事である。

デヴィッド・ベッカムの場合、ラグナロードの金星が自分自身や自分の肉体を表すラグナに在住しており、自分の肉体とか、自分自身に関心が高いことを示している。そして、5室支配の水星と接合しているため、何か自分の肉体とか美容に関する趣味のようなものと理解できる。しかし、ラグナにはケートゥも在住している。ケートゥは12室の表示体であり、獲得よりも手放すことを求めるのである。また現世への幻滅とかを表しもするのであるが、ケートゥが定座で強い金星と接合しているということはその人は美しく、美しく保つことにも一生懸命で、それらに成功するが、どこか自分の美しさに幻滅し、何か精神的な理想、獲得よりも失うことを求める傾向が出てくると思われる。

例えば7室に金星が在住し、ケートゥが同室している場合、パートナーに対して、精神的な理想を求める傾向があり、またパートナーに幻滅する傾向があると聞いたことがあるが、実際、それは別のケースにも応用可能である。

デヴィッド・ベッカムの場合、ラグナロードが1室の定座に在住し、吉星の水星と接合して、ハンサムな容姿に恵まれているが、しかし、それに幻滅し、満足していない可能性があるのである。

それはケートゥの働きで、何か恵まれている容姿をわざわざ失わせたりするように働くのではないかと思われるのである。それでわざわざ険しい顔に整形して、闘争心を出そうとしたのではないかと思われるのである。というのは彼を見てまだ皺をとるような年齢ではないと思われるし、皺も無かったのではないかと思われる。

普通は整形後はもっと容姿が美しくなっているのが普通だが、彼の場合、明らかに整形後の方がマイナスになっている。何故、こんな整形をしたのかが疑問に思われるのである。

マイケル・ジャクソンの場合は彼は白人になりたかったのであり、ある意味、理想の白人になりたいというプラスの発想であり、ある程度、成功したと思われる。(余りにも整形しすぎて顔がくずれるという悲劇も襲ったが、途中経過においては彼は自分の理想を実現したと思われる)

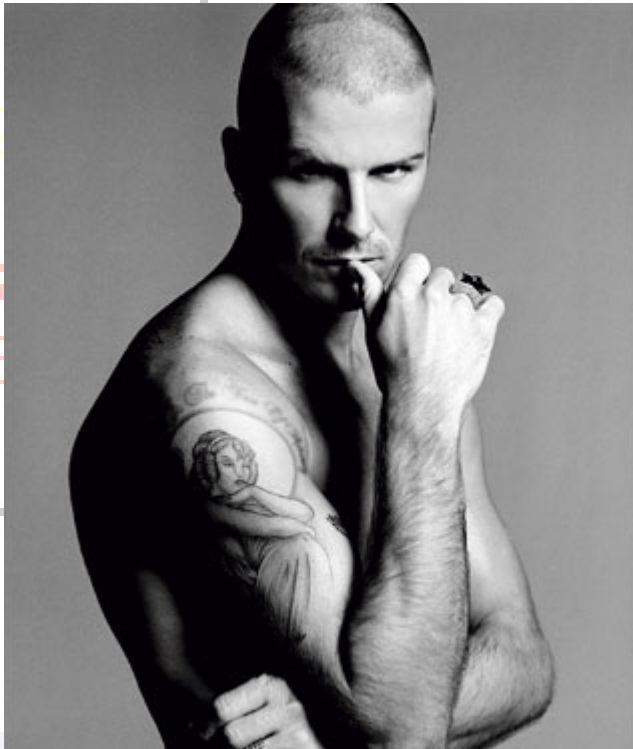
しかし、デヴィッド・ベッカムの場合、ラグナロードが1室の自室に在住して、わざわざ美しかった顔を何故、いかつい攻撃的な容姿に変えてしまったのだろうかという疑問が沸いてくるのである。

やはり、そうした意味で、彼の整形というのはケートゥの働きによるものだと思うを得ない。

例えば7、12室支配の火星が10室からラグナとラグナロードの金星にアスペクトしているが、マイケル・ジャクソンもラグナロードの金星に火星がアスペクトしている。

火星は鋭利な刃物などの道具や技術を表すため、身体にメスを入れて、整形手術をしたということが理解できる。(ラオ先生が何か肉体に変化が起きるときは必ず、1室や1室の支配星が関係していると述べている。火星からの1室へのアスペクトは鋭利なもので肉体が影響されることを表している)

デヴィッド・ベッカムは体のあちこちに妻や家族の名前のタトゥーを入れており、火星がアスペクトしていることを物語っている。そして、体に文字のタトゥーを入れるということは水星とか、あるいはケートゥばかりでなく、ラーフも関係しているかもしれない。スキンヘッドとか、髪の毛を立てたりなど、彼は肉体自体が芸術作品のようである。



スキンヘッドにタトゥーの肉体はラグナに在住する金星と水星だけの影響ではこうはならないのだ。ラグナとラグナロードにラーフ/ケートゥ軸が絡んでいなければこうはならないのである。特に坊主頭なのでケートゥの影響であると思われる。ケートゥは牡牛座で減衰しており、スキンヘッドにしているのに坊さんらしい真面目な感じがしないのはそのせいかもしれない。

ベッキンガム宮殿

ベッキンガム宮殿

Beckingham Palace・ベッカム夫妻の邸宅の通称。場所はロンドン中心部から車で約1時間の高級住宅街ハートフォード州。

評価額は500万ポンド(約9億9000万円)相当、広さは約9万7000m²で、FK練習用のハーフピッチ、日本庭園などもある。ベッドルームは20部屋、門から家までは約230mとのこと。名称は英国王宮「バッキンガム宮殿」をもじったもの。いかにも日本人が思いつきそうなダジャレであるが、実は世界的な言い回し。 WEB MAGAZINE「月刊基礎知識」



ベッカムはロンドン郊外の高級住宅街に邸宅を構えており、バッキンガム宮殿をもじって、“ベッキンガム宮殿”と呼ばれている。

月をラグナとすると8室支配の太陽が4室で高揚しており、お城に住む王様を表している。

ラグナから見ると4室支配の太陽が12室に在住しており、この邸宅は彼の隠遁地であり、唯一、世間から隠れて、プライベートを過ごせる安らぎの場所である。

彼は最近、子供に割礼を受けさせるために、わざわざバッキンガム宮殿内に教会を建設したのは、教会に行くとパパラッチなどの標的になってしまうため、教会を自宅内に作ろうという発想である。唯一、プライバシーを守れる場所なのである。

エリザベス女王は山羊座ラグナで4室で太陽が高揚しており、バッキンガム宮殿に住む女王の立場を表しているが、デヴィッドベッカムにも同じような配置が見られるのである。

富と華麗な社会生活 - セレブリティ -

彼はサッカー選手というよりもファッションモデルとか、映画スターのようであり、サッカー選手としての収入よりもそれらの収入の方が多いこともよく知られている。

1、6室支配の金星が2、5室支配の水星と1室で接合して、1 - 2、1 - 5のラージャヨーガ、ダナヨーガを形成し、月から見ても5、10室支配の金星が9室支配の水星と5室で接合して、5 - 9、9 - 10、5 - 10室のラージャヨーガダナヨーガを形成している。従って、彼は映画俳優とか、モデルとか、創造的な芸術、芸能活動に関わるような配置をしており、実際にそうである。TVコマーシャル、ファッション誌などの出演料や取材費、掲載費などで、莫大な金額を得ている。そしてオファーをしてくるのはスポーツ用品とか、サプリメント、化粧品、ファッションの有名ブランドなど、物品を扱う会社で、牡牛座の象意がよく出ている。

そして、これらの吉星がつくるラージャヨーガ、ダナヨーガは11室にアスペクトして、富のハウスを刺激しており、月からみて11室支配の火星が2室に在住して、ダナヨーガを形成しつつ、さらに水星、金星にアスペクトして、富の絡みを生み出している。またラグナから見て11室支配の木星が11室で自室にあり、名声、称号、評価に恵まれ、収入、富も桁違いであることを示唆している。11室は飛びぬけて高い地位を表しており、社会的に高いステータスにある有力者との社交を表している。その木星に対して、9、10室支配のラージャヨーガカラカの土星が2室からアスペクトしており、ここで9 - 11室の絡みを生じている。

ここまで見てくると、やはり、彼はサッカー選手ではあるが、ほとんどサッカー以外の活動で稼いでいる理由と言うのが分かってくる。

然し、彼はサッカー選手なので、それがどこに現れているかと考えると、10室に在住する火星である。火星はラグナとラグナロードの金星にアスペクトして、パーソナリティーを火星色に特徴づけている。火星は筋肉であり、スピードの表示体であり、運動選手にとって、最も必要な資質である。つまり、火星はスポーツの表示体である。その火星がラグナ、ラグナロード、そして、5室の支配星などに絡んでおり、また月から見ても、10室支配の金星に火星が絡んでいる。

彼の興味関心ごと、パーソナリティー、仕事などに火星が絡んでおり、それでスポーツ選手であると考えざるを得ない。

またナヴァムシャではラグナロードの土星が牡羊座に在住して、10室支配の火星と自室で接合しており、月からみても同じである。

火星と1室や10室の絡みはナヴァムシャの方でより鮮明に出ているように思われる。

土星は牡羊座で減衰しており、彼が試合中に審判に抗議して出場停止処分になったり、若いときには気性が激しい面が見られたが、減衰するラグナロードの土星は忍耐力がなく切れやすいので、パーソナリティの面にそうしたものが影響した可能性があると思われる。

強迫性障害

2007年4月2日、デヴィッドベッカムは英テレビ局ITV1のインタビューに対し、自身が強迫性障害であることを告白している。

Beckham reveals he has OCD

David Beckham has revealed that he suffers from obsessive compulsive disorder. The England captain has spoken for the first time of his addiction to rearranging hotel rooms and lining up cans of soft drinks to make "everything perfect". In the interview, to be broadcast on ITV1, he said: "I've got this obsessive compulsive disorder where I have to have everything in a straight line or everything has to be in pairs. I'll put my Pepsi cans in the fridge and if there's one too many then I'll put it in another cupboard somewhere. "I'll go into a hotel room and before I can relax, I have to move all the leaflets and all the books and put them in a drawer. Everything has to be perfect. According to The Independent he said he would like to stop, he added: "I would like to. I've tried and can't stop." Beckham said that his teammates at Real Madrid were unaware of his condition, but that players at his former club, Manchester United, would deliberately rearrange items in his hotel rooms to infuriate him.

(Ananova Ltd. <http://www.ananova.com/>より引用抜粋)

(訳文)

ベッカム、強迫神経症(OCD)を告白

デヴィッド・ベッカムは強迫神経症で悩んでいることを明らかにした。

イギリスのキャプテンは「全てを完璧にするために」ホテルの部屋を再配列し、ソフトドリンクの缶を並べる彼の中毒について話しました。ITV1で放送するインタビューの中で「私は全ての物が真っ直ぐなラインで並んでいるか、全ての物がペアでなければならぬという強迫性障害を持っている。私は冷蔵庫にペプシの缶を置くとすると、もしそれが(ペアにするのに)一つ多いとすればどこか別の食器棚にそれを置くのです。」と彼は言った。

「私がホテルの部屋に入るなら、リラックスする前に全てのリーフレットと本を移動して、引き出しにそれらをしまわなければなりません。全てがパーフェクトでなければならないのです。」インディペンデント誌によれば彼はやめたいと言ったが、加えて「やめたいし、やめようとしたがやめることができない」と言ったという。

ベッカムはリアルマドリードの彼のチームメートは彼の症状に気づいていなかったが、前のマンチェスターユナイテッドの選手たちは、彼を怒らせるためにわざと彼のホテルの部屋の物を再配置したといった。

彼は物を一直線に並べたり、物がペアでなければならぬという強迫性障害(強迫神経症)を抱えているのである。また潔癖症も抱えているという。

物の配置などを整然と秩序立てたいのは土星や土星の星座の働きである。土星は秩序や組織化の惑星である。それが強迫的になっているというのはどう解釈すればよいのか。強迫神経症というのは心理的なもので、マインドの疾患であり、器質的なものではないので、心の月やマインドの水星などに土星や火星などの凶星が絡んでいることがまず想定されるのである。

10室支配の土星はラグナにも月にも水星にも絡んでいないので、土星が直接、もたらしている症状と

は考えにくいのである。

しかし、彼は強迫性障害で実際に物を一列に並べたり、いろいろ行動に支障を来していることから、10室に在住する火星が影響していると思われる。火星は水瓶座に在住しており、水瓶座は組織化の星座である。物事が秩序だっていないと気がすまないのである。10室は行為のハウスであり、そこに火星が在住することで過剰なエネルギーが強迫的に秩序をもたらそうという行為に結びついているのかもしれない。

そして、火星は水星にアスペクトして思考活動を刺激している。思考活動が活発化するのである。水瓶座に在住する土星が水星にアスペクトすることで、物事を秩序づけようとする思考活動が過剰に刺激されているのである。火星は敵対星座にあり、ディスポジターとの関係も一時的敵対で、品位が弱い。然し、ケンドラ10室在住で、チャートの持ち主に多大な影響を与えるのである。凶星はケンドラに在住すると大きな害を及ぼすのである。そして、水星はケートゥと絡んでいるが、ケートゥが水星と絡むと何か霊にとり憑かれたとか、病原菌に感染したとか、何か見えないものに対する恐怖をもつらしいのである。従って、軽度の潔癖症から、細菌とか汚れが手にくっついていて、延々と手を洗う不潔神経症とか手洗い恐怖症などの潔癖症の極端なものまで、ケートゥの影響がある可能性があるのである。そのケートゥと接合する水星に対して水瓶座で秩序立てる性質を帯びた火星がアスペクトすることで、潔癖症や強迫性障害をもたらしていると考えられるのである。

これらの物を並べたりする強迫神経症は、資本家で映画監督のハワードヒューズの例でも見られる。(別紙参照)

この10室の火星は司令官の配置であり、彼がイングランド代表として、チームの指令塔としての役割を果たしていたことも表している。彼はあまり自ら、ドリブル突破を図ったり、足技でボールをキープしたりするタイプではなく、正確な前線へのロングパスやクロスパス、サイドチェンジなどが彼の得意なプレーであるが、これらも水瓶座の性質がよく出ている。目標の場所へ正確にロングパスを出すようなプレーは得意であるが、ドリブルやボールキープなど、秩序立っていない混沌としたプレーは苦手のようなようである。

不倫騒動

またデヴィッド・ベッカムは不倫疑惑が盛んに報じられているが、ピクトリア婦人の友人であるダニエル・ヒース、元マネージャーのレベッカルースなどとの不倫疑惑が報じられているが、どちらも不倫相手が洗いざらい暴露してしまうのである。10室には7、12室支配の火星が在住しており、7室はパートナー、12室は性生活である。10室は隠すことができない大衆から見られ知られるハウスであることからパートナーとのプライベートの一切が暴露されてしまうのである。しかもパートナーは出来事の細かい描写まで激しく暴露している。この激しさが火星の象意ではないかと思われる。そして火星はベッカムのラグナとラグナロードの金星に対して一方的にアスペクトしている。従って、ベッカムと不倫相手の情事では不倫相手の方がベッカムに奉仕する役割であり、暴露記事を読んでもそのようである。しかし、それでその相手との関係で訴訟になるとか、不幸な関係になるとか、そういったことはなく、ただ暴露されるというだけである。そして、暴露されてベッカムの方が傷つけられるというだけである。12室(出費)が絡むので、多少お金を請求されて支払っているのかもしれないが、大きな現象としては関係があって、それが相手によって暴露されるというだけのことが起こっている。この相手の女性たちは非常にアクティブで天真爛漫としている。まさに火星が表示するパートナーである。